



2017年1月20日

各位

会社名 株式会社電通国際情報サービス  
 代表者 代表取締役社長 釜井 節生  
 (コード番号 4812 東証第1部)  
 問合せ先 取締役専務執行役員 上原 伸夫  
 (TEL. 03-6713-6160)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2016年2月9日に発表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### ●業績予想の修正について

2016年12月期 通期連結業績予想数値の修正 (2016年1月1日～2016年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	82,013	5,700	5,873	3,871	118.82
今回修正予想(B)	79,783	6,488	6,704	4,580	140.58
増減額 (B-A)	△2,230	788	831	709	
増減率 (%)	△2.7%	13.8%	14.1%	18.3%	
(ご参考) ※ 2015年1月～12月累計実績	81,243	5,527	6,227	4,507	138.34

※当社は、2015年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。このため、ご参考としては、2015年12月期(2015年4月1日～2015年12月31日)業績に、2015年3月期第4四半期会計期間(2015年1月1日～2015年3月31日)の業績を加えた数値を表示しております。

#### 修正の理由

売上高は、金融機関向けならびに電通グループ向けが計画を下回って推移しているため、前回予想を若干下回る見通しです。

一方、利益面では、コンサルティングサービスならびに自社開発であるソフトウェア製品の計画比増収に加え、不採算の抑制、販売費及び一般管理費の計画比抑制により、営業利益、経常利益が前回予想を上回る見通しです。また、特別利益に関係会社株式の譲渡益を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想を上回る見通しとなりました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はすべて過去最高となる見込みです。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上